

NPO法人

全日本語りネットワーク

〒376-0045 群馬県桐生市末広町 11-1
JR 桐生駅構内 桐生市民活動推進センター
(Fax) 0277-47-4066 (振替) 00130 - 2 - 114808
(E-mail) welcome@japankatarinet.jp
(HP) http://japankatarinet.jp/

2015. 1. 31 発行

ニュース

「全日本語りの祭り」……エナジーの源

末吉正子 (NPO 法人全日本語りネットワーク運営理事)

新しい年が穏やかでありますように心から願っています。

さて、南三陸町での「第 12 回全日本語りの祭り」は無事に終わり、次回の開催地も島根県松江市と決まりました。参加者が創る語りの祭り、あの熱気が好きです。プロもアマチュアもなく、団体間の理論の違いも越えて、ただ「語りが好き」というその気持ちだけで集う人々が好きです。語り手と聞き手が作る協同空間が好きです。そんな「好き」が重なって、運営メンバーとして、どれほどの月日を重ねてきたことでしょう。

1993 年 10 月、当時アメリカに暮らしていた私は、テネシー州ジョーンズボロで開催されていたナショナルストーリーテリングフェスティバルに参加していました。

「風が、光が、笑っている。語ろうよ、語ろうよ、と囁いている……なんて、自由なんだろう！日本にもこんな祭りがあつたらいいのになあ！」

美しい秋空の下、小さな田舎町に 1 万人の参加者が集い、おおらかに語りを楽しんでいる光景を愛でていたまさにその時、日本からやってきた 10 人の視察グループ……佐藤涼子さん、大島廣志さん、大塚佳苗さん、そして、故櫻井美紀さんら……と私は「出会ってしまった！」のでした。それが私にとっての、全日本語りの祭りとの関わりの始まりでした。

以来、仲間たちと支えあいながら、「語りの祭り」という山を幾山もエンヤコラと越えてきました。私たちを突き動かしたエナジーの原点に、ひとつの理想があつたからだと思います。「つなぐ」「つながる」「伝える」「分かち合う」……語りの祭りにおいては、みんなが垣根を取り払い、語りを寿ぐ場でありたい、という理想です。

誰が本物とか、偽物とか、あんな語りは嫌いとか、そういう意見はひとまず置いて、プロとして語っている人、ボランティアで語っている人、子どもに語りたいたい人、大人に語りたいたい人、お国ことばで語る人、共通語で語る人、日本民話、世界の民話、文学作品、パーソナルストーリー、自作品等々の分野をそれぞれ語りたいたい人、……様々な語り手が様々なスタイルで語りを分かち合う場でありたい、そして互いを認め、刺激しあい、学びあえる場でありたい、と私たちは願っています。

参加者にとってのエナジーの源もそこにある、と信じているから、全日本語りネットワークの運営理事たちは、次の山に向かって歩いてゆくことができるのです。

